

読んでみんさい 広島本!



広大で迎えるこの春、広島にちなんだ本11冊を紹介します!
本を読んで、もっと広島に親しんでみませんか?



- 夕凪の街 桜の国
こうの史代 著

中央093/Ko-76 中央平和学726.1/Ko-76 電教官推書図書369.37/Ko-76

著者は広大理学部出身です。穏やかな空気の中に描かれる、原爆で人生を変えられてしまった人々の物語。広大図書館が収集している「平和学コレクション」では、仏語版、英語版も所蔵しています。



- アーキマップ広島 広島市内+宮島
アーキウォーク広島 編著

東開架092.5/A-37

建築、という視点から、広島を見ていくガイドブック。「あれ?」と目を引く建物が、意外に広島は多いんです。ちょっと気になるあのビルの正体が、この本の中に載っているかも!



- 穴
小山田浩子 著

中央913.6/0-95 西開架913.6/0-95

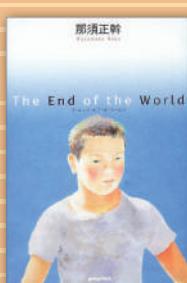
2014年 第150回 芥川賞を受賞した作品。著者は本学文学部の2006年の卒業生!夫の転勤によって義理の両親の側に住むことになった女性はある日不思議な「穴」に落ちる。平坦なのに独特な文章と世界観。他二編もぜひご一読を!



- The End of the World
那須正幹 著

西開架913.6/N-56

広島市出身の「ズッコケ三人組」著者による短編集。子供向けですが、大人も引き込まれる各話の世界観とラスト。島本理生著「リトル・パイ・リトル」にも、この本が登場します!



- とんび
重松 清 著

西小型913.6/Sh-28 霞913.6/Sh-28

不器用な父ヤスと優しい息子アキラの間にある、ある嘘とは? 広島を舞台にした、ある親子と親子を取り巻く人々を描いた、温かい物語。2012年と2013年にはドラマになりました。



- 中途半端な密室
東川篤哉 著

西小型913.6/H-55

「謎解きはディナーのあとで」で有名な著者は、尾道市出身! 軽快なストーリーと正攻法の謎解きが冴える、初期の五編を詰め込んだ短編集。表題作は、東川さんの記念すべきデビュー作です。



- あなたの知らない広島県の歴史
山本博文 監修

西小型217.6/A-46 霞開架217.6/A-46

広島県の古代から近代までを、Q&A形式で読んでみませんか。「広島」という地名の由来って? 広島と忠臣蔵には実は関係があった!? お好み焼きの始まりって何? お手軽な新書で、豆知識が盛りだくさん!



- 花の鎖
湊かなえ 著

西開架913.6/Mi-39

「雪」「月」「花」の字を名前に持つ女性たちの生き様と、謎の人物Kの正体を巡るミステリー。2013年秋には、ドラマ化もされました。「告白」「夜行観覧車」でも有名な著者は、広島県因島の出身です。



- 神々の乱心
松本清張 著; 上、下。

西開架913.6/Ma-81/ジョウ 西開架913.6/Ma-81/ゲ

宗教団体と宮中が絡み合う、松本清張未完の絶筆です。舞台の一つに登場するのは、観光地鞆の浦と三次市! 未完とはいえかなりの部分まで書き進められていたので、書かれなかった部分を推理してみるのも楽しいかも?



- チャップリンの影 日本人秘書高野虎市
大野裕之 著

西開架289.1/Ko-76

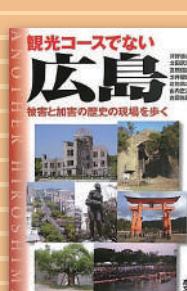
あのチャップリンの秘書は、実は日本人! しかも広島県安佐郡(現安佐南区)出身!? 喜劇王に全霊で尽くし、その後波乱に満ちた生涯を送ったある男の生涯を明らかにする1冊です。



- 観光コースでない広島 被害と加害の歴史の現場を歩く
澤野重男[ほか] 著

中央平和学291.76/Ka-56

原爆・平和という観点から、市内や呉・若国までを巡る詳細なガイドマップ。平和な街並みに残るかつての記憶が、この本によつて明らかに。被害だけでなく、広島に残る「日本の加害」についても言及しています。



- Check! この数字っていったい何?

「913.6 0-95」本に振られているこんな数字を請求記号呼びます。「この本が読みたい!」と思ったら、その本の請求記号が、図書館のどこに並べられているかを探してください。

なお、貸出されているかどうかは、図書館HPの「OPAC蔵書検索」で検索すると分かりますよ!

広島大学図書館OPAC蔵書検索
http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=254



赤丸の部分が「請求記号」です
本の背の下の方にこんなラベルが貼られています。